

521 系車両の「中間車両」の新造について

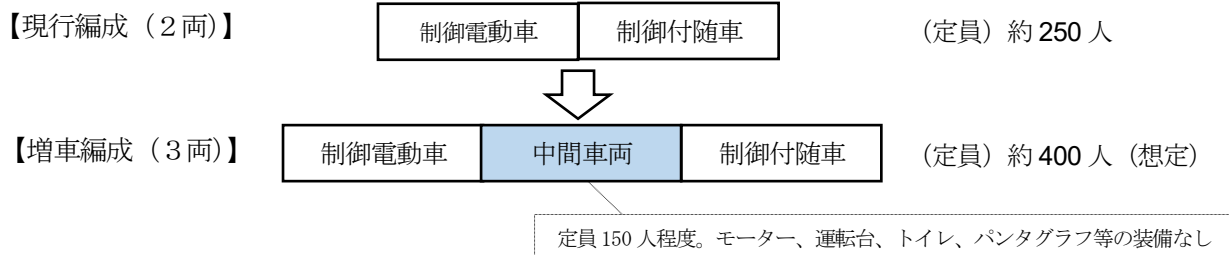
1 編成あたり 2 両。現在 22 編成所有

老朽化が進む旧型 413 系車両 1 編成（3 両）の運用終了時期を見据え、521 系車両の一部を 3 両編成で運行するため「中間車両」を 3 両新造する計画を進めています。

○中間車両新造の目的等

- ① 輸送需要に応じた効率的な車両運用（現在 2 両又は 4 両で運行 → 輸送需要に応じ 3 両で運行）
- ② 輸送力の増強と地域交通ネットワーク機能の強化
（413 系車両は走行距離を限定して運用。521 系車両に置き換えることでより柔軟な運用が可能となり、輸送力の拡大につながる）
- ③ エネルギー消費量や CO2 排出量の削減（413 系車両は消費電力が多い）
- ④ 2 両ユニットの 521 系車両を新造する場合と比べ、小さな投資額で十分な効果
（中間車両は運転台やトイレなどの装備がないため、多くの定員を確保できる）

○521 系車両 3 両編成のイメージ



○中間車両の整備スケジュール

- 2024 年度 車体・台車の設計、モニター装置のソフト改修など
（経費：168 百万円、財源：2022 年度基金補助金（減収補填分）の未使用分を活用）
- 2025 年度 車両の製造スケジュールの調整、導入時の運用計画の検討など
- 2026 年度～ 車両の製造（2026 年度 2 両、2027 年度 1 両製造の予定）

○中間車両の新造経費と財源

○概算経費（見込み）約 873 百万円（＝1 両あたり約 291 百万円×3 両）

○財源（案）

- ・国庫補助 291 百万円（補助率 1/3）
- ・基金補助 582 百万円（うち 92 百万円は 2022、2023 年度減収補填分の未使用分。
この未使用分の活用については利用促進協議会了解済み）